

# 会員登録時の本人確認（メールアドレスの有効性確認）と認証フローの設定について

ストアでの会員登録にあたり、事業者様によるお客様情報の確認～承認が必要な運用ケースがございます。本Tipsではこのような運用を実現するための本人確認と認証フローの設定方法、それぞれの設定値によるフローの違いについてご紹介します。

## ■ 設定方法について 管理画面>ストア管理>ストア設定>会員登録設定

**会員登録の認証フロー**

必要  不要

「必要」に設定することで、会員登録完了後に事業者側で認証する（仮登録から本登録に変更する）フローを追加することができます。

**本人確認**

必要  不要

「必要」に設定することで、会員登録時にお客様側での本人確認（メールアドレスの有効性確認）のフローを追加することができます。

## ストア>会員登録画面>会員登録完了

**本人確認完了**

本人確認が完了しました。  
弊社担当より会員登録完了のお知らせをメールでお知らせいたします。  
よろしくお過ごしください。

**販売先ステータス**

退会  仮登録  本登録

会員登録完了後に販売先ステータス「**仮登録**」で販売先が登録されます。

## 管理画面>販売先管理>販売先一覧>編集 ↑

## ↓ スタ>会員登録画面>登録申込み完了

**新規会員登録**

STEP 1 各種同意確認

STEP 2 お客様情報の入力

STEP 3 入力内容の確認

STEP 4 登録申込み完了

▲ [STEP 4 登録申込み完了] 後、送信されるメールの内容をご確認ください。

会員登録申込み完了と同時に登録したメールアドレスに確認用のメールが送付されます。メール内のリンクを押下することで本人確認（メールアドレスの有効性確認）が完了します。

※本人確認のURLリンクの有効期限はメールを送信されてから標準で30分間です。有効期限が切れると「本人確認メール再送信」のボタンが表示されます。

## 補足：各設定値による会員登録時のフローの違い

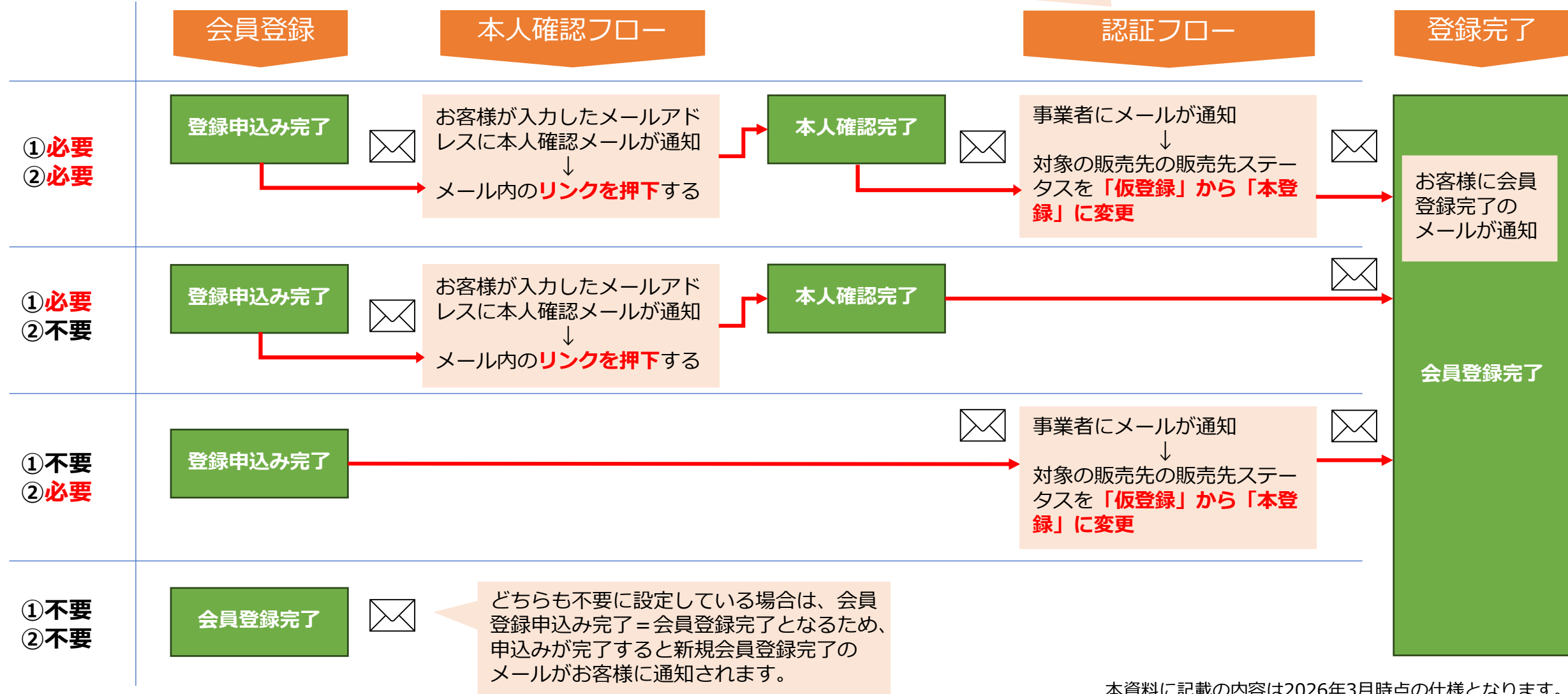


ポイント

「会員登録の認証フロー」を「必要」に設定している場合は、会員登録申込み完了時点で「仮登録」として登録されます。本ステータスはストアログインが不可となり、事業者様が管理画面で「本登録/申請却下」のいずれかに変更する前提の運用フローとなります。事業者様で与信確認や取引可否などの個別の判断基準がある場合は、本設定をご活用ください。

以下設定値①②を「必要」「不要」にした場合のフローとなります。

- ①本人確認
- ②会員登録の認証フロー



本資料に記載の内容は2026年3月時点の仕様となります。